直営堅持を基本に全力で!!

まずは、この一年間、組合活動へのご協力に感謝申し上げます。

今コロナ禍で変則的な組合活動とはなりましたが、自治労や都市清掃をはじめとする上部団体、連携自治体とは「リモート会議」などを通して、政策立案のための情報共有等手段を停滞させずに活動して参りました。

2020運動方針に沿って課題を整理し、要求交渉に無事つなぐことが出来、今日を迎えられましたのも組合員の皆さまの御支援のおかげだと思っております。

さて、私たちの様な「自治体現業労働組合」は安心・安全の市民サービスを安定して届けることを最優先に掲げ、直営堅持を柱に組合員の生活の向上を果たしていくものであります。

2019年度に遡りますが、組合と現在のごみ減量推進課と東西管理センター班長・主査により、東西の統合を主軸とした『業務効率化のためのワーキング』を行いました。

東部環境エネルギーセンターを含めた各施設の老朽化を含め、建て替え時期を目前に控えた実現可能な体制の方向性を探るといったものでしたが、中身は「財政基盤健全化」と称する施設等の必要経費削減と直営人員削減の口実づくりでしかありませんでした。

市民サービスの安定的な提供や私たちの働き方の充実などに関しては、議論されずに物事が進むことだけは阻止しなければならないと強く思った次第であります。

これと並行して両管理センターは、収集コースの委託と共に管理指導班を拡充し、収集の統括班は2020年度からは「5班体制」から「4班体制へ移行」することや、統合後はよりシンプルに主査人員も減らす案が示されておりました。

委託業者に対する指導を含めた全コース・全収集品目の管理等をしながら、町並み収集、ごみサポート、ストアーくる、拠点回収等をこなすために、この4班体制初年度は、ごみ減量推進課や戸室新保埋立場へも優秀な人員を割いていますので、ただでさえ大変な所でしたが、ここまで一年をやり遂げることが出来ましたのも東西管理センターの班長・主査の皆さんの努力と工夫、東西協力体制や本庁の仲間達の応援があったからこそと思っております。

さらに、コロナ禍におけるクラスター対策（集団感染）を考えた際には、職場は『分散』が好ましい。

実際に神戸市や八王子市では、各事業所のコロナ感染等による閉鎖に対し、他の事業所のフォローによって事なきを得ています。

責任ある「サービス」を安定的に遂行するには、一か所への施設統合は避けなければならない。全ての職場存続のために『職員の新規採用再開』は強く求めなければならない。これらは、この時代や社会の要請であり、退職者不補充等はこの時代には、もう全く合わなくなっていることを大きく強調しながら、己の信念のもとに各交渉に臨んでおりました。

ところで、2019年より今日まで、私たちが推薦し『金沢市議会議員』となられた**田中美絵子**さんのご協力を得て、議会対策によって「各要求」に重みを持たせる取り組みにも着手して参りました。

直面する人員確保などの課題解決のための質問を要請したところ、当選初年度の6月議会では当局に不都合な質問は『削除』させられておられました。しかし、自民をはじめ超党派に対し積極的に協力要請に動かれた時点から、当局の態度が一変しました。約7年ぶりに、新規採用については『前向きに考えていきたい』という回答が飛び出しましたのも、市議会に配慮した回答に他なりません。

しかしながら、新規採用再開による各職場の「定数充実」が実現するまで、今は辛抱して下さいと言わざるを得ないことが悔しい限りでございます。

とりわけ、社会全般が危機的状況であることと同じくして、組合員の皆様におかれましては『職場存続の危機感』は、常に頭の片隅に置かれながら一層の奮起をお願い致しまして、これからも生き生きとした職場を共に作って参りましょう。　これからも一致団結して頑張りましょう!!

金沢市従業員労働組合 執行委員長　**松本由紀夫**

新 執行部 役員体制

執行委員長	松本由紀夫	〔西部管理センター〕
副執行委員長	坂下　晃	〔東部管理センター〕
書記長	坂下　英之	〔東部管理センター〕
財政部長	北本　友彦	〔西部管理センター〕
執行委員	山下　貴子	
	加藤　一実	〔東部管理センター〕
	山本　哲也	〔西部管理センター〕
	野村　建太	〔西部管理センター〕
	得能　健一	〔西部環境エネルギーセンター〕
	坪川　和生	〔東部環境エネルギーセンター〕
	横山　修平	〔戸室新保埋立場・本庁〕

次月号で詳しく紹介
〈役職・顔写真等〉
特集号として作成中

少数精鋭で苦難を乗り切ります!!

Point　1年間（2020年度）の総括　～第76回定期大会はコロナ対応＆YouTube配信～

YouTube配信 第76回定期大会

市従労は、3月6日（土曜）に第76回定期大会を西部管理センターにおいて開催し、運動方針（案）など4つの議案について討議・確認を致しました。

大会議長には、松田　豊代議員（所属：西部管理）を選出し、代議員数30名（出席者：21名、委任状：9名）が組合員総数156名を代表して御参加を頂き、真摯な討議（審議）に心から感謝申し上げます。

大会議長は 松田 豊さん!!

今回の定期大会は、昨年に引き続き新型コロナウイルス感染対策を徹底することは勿論、また、大会が最高議決機関会議であることからも、代議員以外の組合員さんの傍聴を一人でも増やしたいことから、新たな試みとして大会の組合員限定の『YouTube生配信』を行いました。

YouTube生配信での開催!!

大会では、報告も含め議案は事前に送付し、そのうえでポイントを絞りつつ、補足を含めて提案を行いました。

第1号議案「2021運動方針（案）」では、2020方針に引き続き「総参加・総行動」をテーマに掲げました。2021春闘方針並び2021確定闘争方針では、良質な公共サービス確立のための「直営堅持」および「人員確保」さらには、積み残した課題の解決、時代に沿った組織の在り方も含めて我々現業労働者が持つ権利を活用した、組織づくりを目指すことが確認されております。

また、組織強化に関することについては、両管理センター以外の執行委員が短期間で交代する実態を踏まえ、継続的且つ中長期的な執行体制が図られるよう、各職場の理解と協力を醸成する取り組みの推進を確認致しました。

坂下書記長より運動方針!!

北本財政部長から会計予算!!

厚生文化活動については、2020年度に引き続き「季節性インフルエンザの助成」の継続、19・20年度と中止を余儀なくされた『21年度退職者送別式典』の開催を目指すことが確認されております。

第2・3号議案については、「2021年度一般会計予算（案）」等を提案し、向こう1年間の予算を確認、さらには組合員の皆さんに還元できる政策を年度当初に示すことも決定致しました。

第4号議案では、「金沢市従業員労働組合規約及び規程の一部改正及び修正（案）」を提案した旨、確認されております。

最後に、野村執行委員から『大会宣言』を参加者全員で採択し、松本委員長の「団結ガンバロー」で大会を閉会致しました。市従労は、すべての組合員と一丸となり、本大会で確認された運動に全力で取り組みます。

[2021年度の主な重要課題]
【最重点課題】
① 直営職場の維持
・各職場の業務体制及び業務の検証等
② 賃金水準（生涯賃金）の改善
③ 積み残し課題の解決
【重点課題】
① 高齢期雇用施策について
・定年延長を見据えた、再任用希望者全員の雇用及び継続
・再任用賃金の改善・再任用業務の検証及び新たな業務の確立
② 労働安全衛生（メンタルヘルス・ハラスメント対策）について

ソーシャルディスタンスでの開催!!

金 市従労 沢
市従労NEWS
第162号
発行2021年3月23日
金沢市従労組　情報宣伝部